

わらかわ

No.31 開園20周年記念特集 1992年(平成4年)12月



財団法人
鹿児島市動物公園協会

魅力のある動物公園づくりをめざして



園長 谷口達彦

平川動物公園は去る10月14日に開園20周年を迎えました。記念式典は10月18日(日)、多くの市民や動物の代表も参加し、動物園らしい楽しい雰囲気の中でセレモニーを行うことができました。

開園20周年は人間にたとえますと成人を迎えたこととなりますが、これまで立派に成長発展していることは、誠に喜びにたえないところであります。これもひとえに諸先輩方のたゆみないご尽力ご労苦の成果であり、ここに深甚の敬意を表する次第であります。

現在の平川動物公園は開設当時に比べ樹木も大きく成長し、良好な自然環境の中に動物舎をはじめ便益・遊具等の施設が整備充実しております。また、入園者は開園以来1250万人を突破し、毎年60万人以上が来園していますが、この事は動物公園が地域社会に深く浸透し文化施設として、その存在価値を社会的に認められていることを物語るものと思っております。

平川動物公園はこれまで動物園をとりまく厳しい環境や情勢の変化、更に動物園に課せられた使命等に対応して事業の推進につとめているところでありますが、とりわけ動物に直接触れることができる「ふれあいランド」のコーナーや新しい「サル舎」の建設等、動物の生息環境や来園者の観察に適した施設を整備し、これらを通して人々が動物への理解と関心を深め、動物愛護の心を育むように努めて参りました。引き続き本年度においても、修学旅行等の団体客の雨天時への対応として300人収容の雨天休憩所を建設し、来園者の利用に供しているところであります。更に遊園地には大型遊具の観覧車を建設中であります。これらの施設は、家族の絆や子供たちの連帯感、友情等、豊かな情操と心を育んでくれるものと考えております。

更に、また平川動物公園のイメージを高め夢と希望のあるメインゲートの改築や周辺の修景等の整備に関する構想策定に着手しているところであります。

今後、平川動物公園は子供から大人まで楽しく過ごせる魅力のあるレクリエーションの場としての機能をいっそう高めるとともに、教育・研究・自然保護等、動物園の使命を達成するため職員が一丸となって努力いたしますので、従来に変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◀表紙

プレーリードッグ Prairie Dog

げっ歯目 リス科

北アメリカ中部に分布。

体長33~40cm・尾長7~11cm

地下に巣穴の巨大な集合である“町”をつくる。“町”には数千頭がすむことがある。穴の入口は直径15cmでトンネルが3~5m垂直にのび、それに続く2~3の横穴が草をしきつめた巣へとつながる。掘り出した土は出入口のまわりに積むので、火口に似た形をしている。後あして立って見張りをし、危険がせまるとするどい声でなくため“イヌ”の名がついた。日中行動し、草が主食である。1産2~10子。

▼行事

1993年1月2日~1月4日 お正月お年玉大会

3月中旬~4月中旬 動物公園まつり

5月初旬 こどもの日まつり

▼飼育動物数(1992年11月30日現在)

ほ乳類 93種 742点

鳥類 87種 677点

は虫類 7種 13点

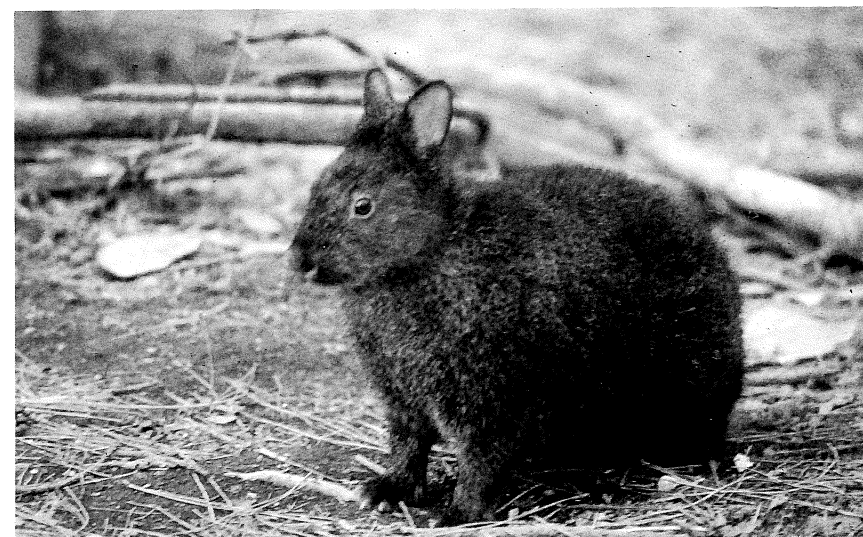
計 187種 1432点

古賀賞の受賞

昭和55年から国の特別天然記念物・アマミノクロウサギの飼育研究を開始し、これまでの12年間にわたって生態の解明と11例の繁殖に成功しました。このことが認められ、社団法人日本動物園水旅館協会から第6回古賀賞を受賞しました。(平成4年5月28日)



古賀賞メダル



アマミノクロウサギ

◀古賀賞

昭和61年4月に死去した元上野動物園長の古賀忠道博士の功績を記念し、同年に制定されたもので、世界的にも例の少ない種の繁殖や画期的な人工育成・研究などに贈られる。

動物公園ニュース

+++++ 動物の赤ちゃん +++++



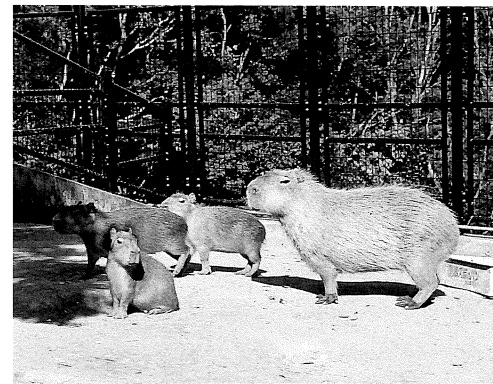
アフリカタテガミヤマアラシ
(H 4・11・12生)



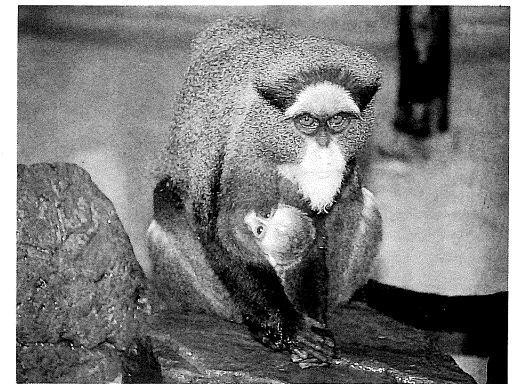
ワオキツネザル
(H 4・3・6生)
(H 4・3・9生)



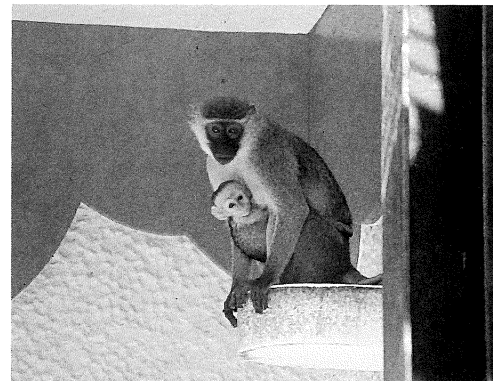
ミゼットポニー
(H 4・4・22生)



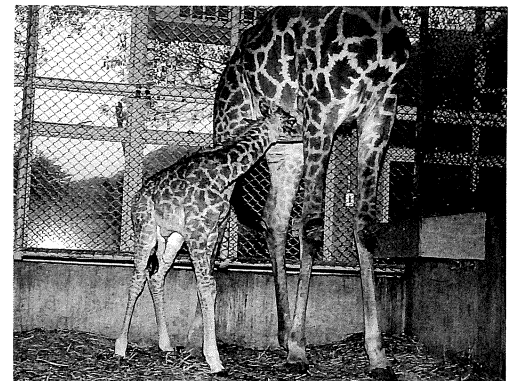
カピバラ 4頭
(H 4・5・6生)



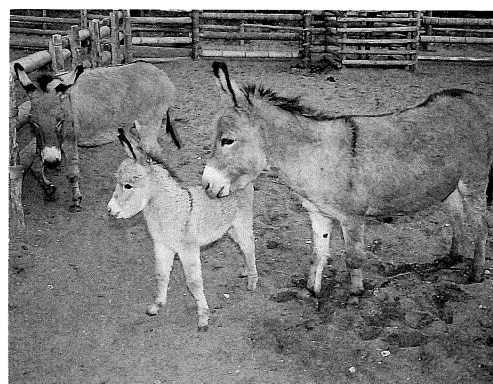
ブラッサモンキー
(H 4・8・5生)



サバンナモンキー
(H 4・8・10生)



マサイキリン
(H 4・9・18生)
(H 4・3・22生)



ロバ
(H 4・9・27生)
(H 4・11・3生)



チリーフラミンゴ
(H 4・9・28生)
(H 4・10・19生)
(H 4・10・26生)

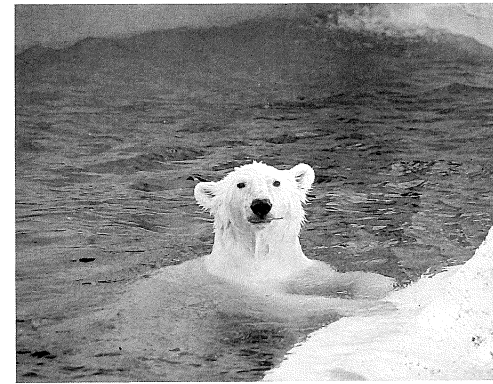
+++++ 新しく仲間入り +++++



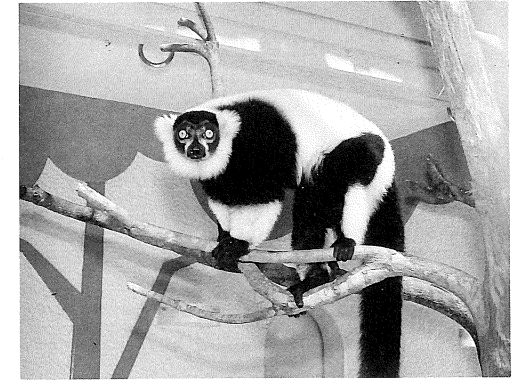
クロシロコロブス (分布・中央アフリカ)
(H 3・12・26 2頭 購入)



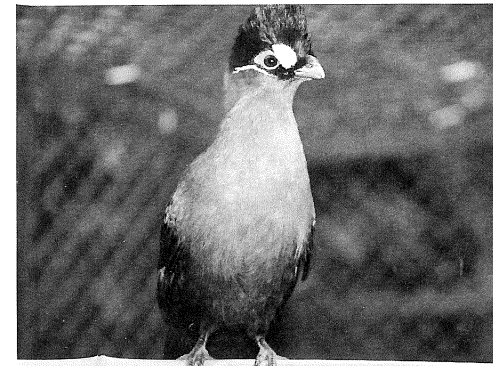
クラハシコウ (分布・アフリカ)
(H 4・10・13 2羽 購入)



ホッキョクグマ
(分布・北極圏)
(H 3・12・7 メス 購入)
(H 3・12・13 オス 購入)



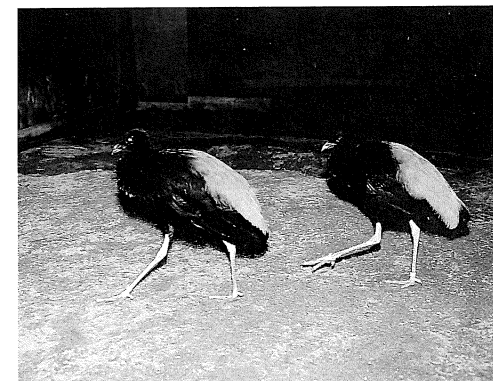
エリマキツネザル
(分布・マダガスカル東海岸)
(H 3・12・24 2頭 購入)
(H 4・1・31 2頭 購入)



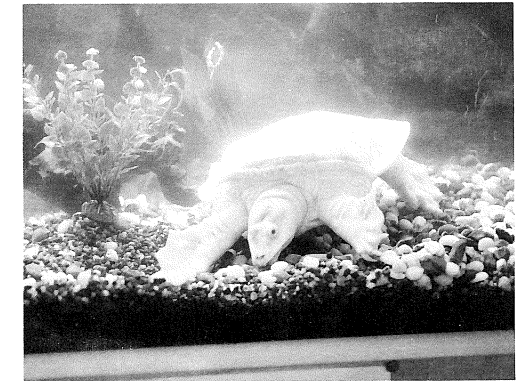
オウカンエボシドリ
(分布・アフリカ)
(H 4・3・24 10羽 購入)



オニオオハシ
(分布・中央・南アメリカ)
(H 4・3・27 1羽 購入)



ラッパチョウ
(分布・南アメリカ)
(H 4・8・22 2羽 購入)



シロスッポン
(分布・日本)
(H 4・9・4 寄贈)

+++++ 新しい公園施設 +++++



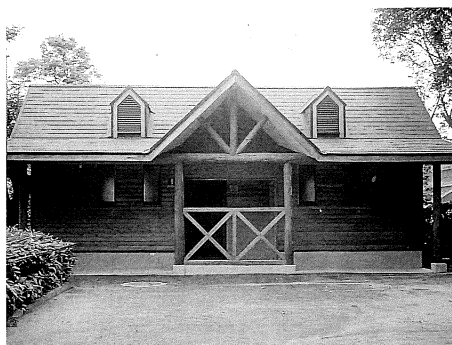
サル舎
(H3・12・10 完成)



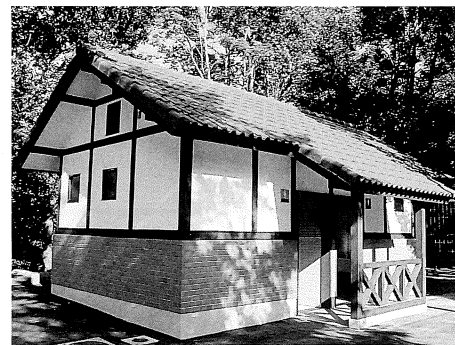
雨天休憩所
(H4・9・21 完成)



白鳥地休憩施設
(H3・12・10 完成)

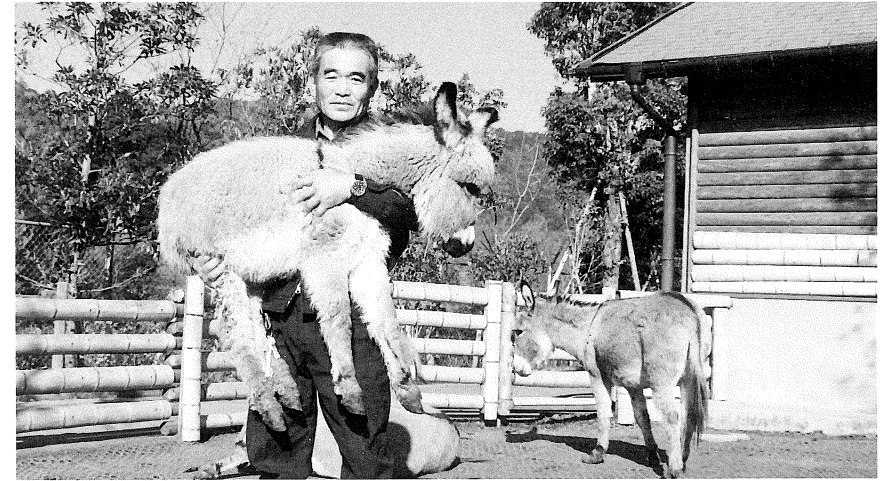


御手洗 (猛兽舎まえ)
(H4・3・18 完成)



御手洗 (バク舎よこ)
(H4・3・18 完成)

ハイ！担当は私です



▲ ショウロバ

平成2年度にオープンした「ふれあいランド」でミニ牧場のトカラウマ、トカラヤギ、メンヨウ、ロバなどやタッチングコーナーのウサギ、テンジクネズミ、アヒルなどを担当しております。

人々と動物たちが楽しくふれあえるよういろいろと苦心しておりますが動物は小さいときから可愛がって育てると良く馴れてくれます。動物を飼うには優しい気持ちが必要だと思っております。

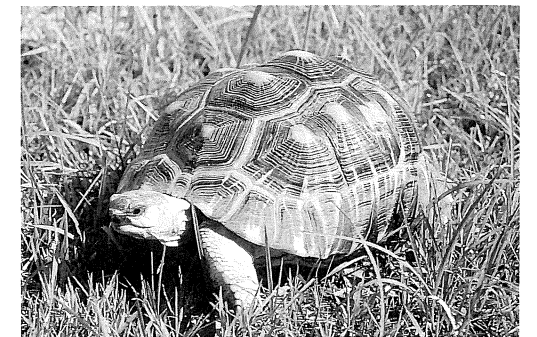
人々と動物たちが仲良く遊べるよう今後も努力してまいりたいと思っております。

主査 内村正之

+++++ ブリーディングローン +++++



オラン・ウータン(メス)
H4・10・7
札幌市円山動物園から



ホウシャガメ(メス)
H4・10・8
京都市動物園へ

開園20周年記念行事

+++++ 開園20周年記念式典 +++++

平成4年10月18日(日)、園内の休養広場でありました。

赤崎市長、市議会議員、招待者、地元の小・中学生など約400人が出席。当日は入園を無料開放しました。



記念式典



メインゲート



園児の演奏

- ニシキヘビ、ポニー、ロバ、ヒワコンゴウインコ、コアラ、ウサギ、マントヒヒなどの動物パレードを行ないました。



動物パレード



動物パレード前風景

- 功勞動物（コアラ、ナベヅル、アマミノクロウサギ）に賞状が贈られ、担当の飼育係が代わりに受け取りました。

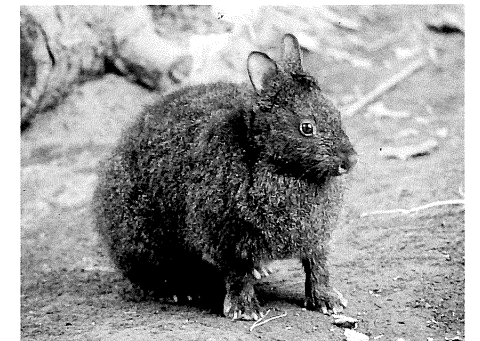


功勞動物表彰（コアラ）

- コアラには、チビツ子たちからユーカリの葉で作ったレイも贈られました。

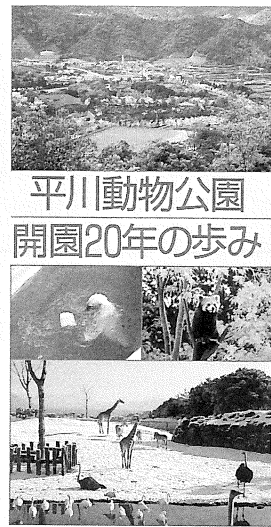


功勞動物表彰（ナベヅル）



功勞動物表彰（アマミノクロウサギ）

+++++ 記念出版物など +++++



平川動物公園
開園20年の歩み



◀▼テレホンカード



◀ 記念誌「開園20年のあゆみ」

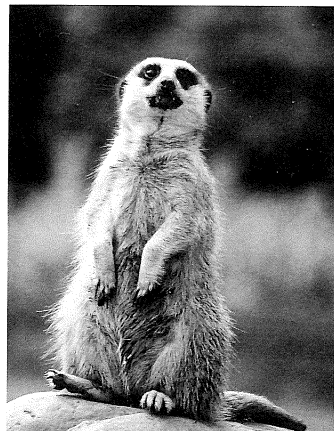
◆ 開園20周年記念動物人気投票 ◆

平成4年10月1日から10月31日まで、動物公園内で動物人気投票を行ないました。
投票総数は2226票で人気ベスト10は次のように決まりました。

1位 コアラ	526票	6位 ライオン	87票
2位 キリン	222票	7位 リス	78票
3位 レッサーパンダ	177票	8位 サル	59票
4位 ゾウ	145票	9位 リスザル	46票
5位 ウサギ	138票	10位 ペンギン	46票

◆ 開園20周年記念動物写真コンテスト入賞作品 ◆

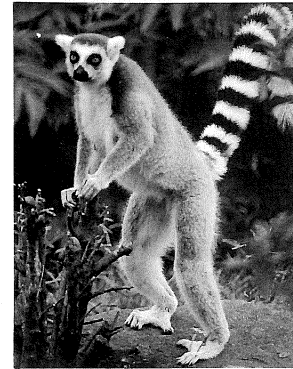
ミーアキャット



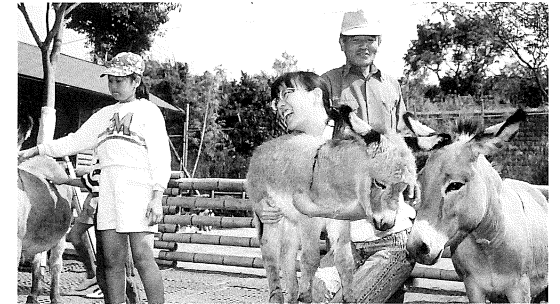
+++++ 推 薦 +++++

小田 照 枝

+++++ 特 選 +++++

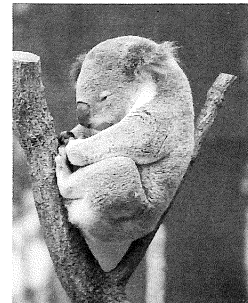


「ワオキツネザル」雄姿
竹之内 祐 司



だっこのロバさん
別 府 輝 雄

+++++ 入 選 +++++



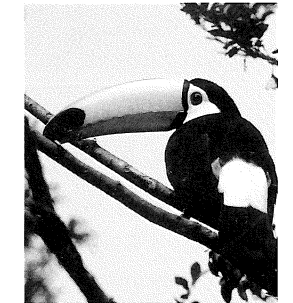
「コアラ」
岩 下 逸 子



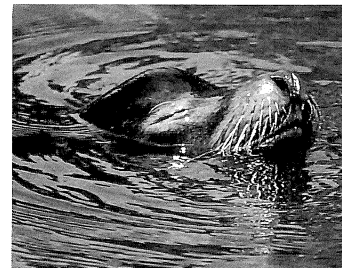
セイケイ
小 田 純 子



親子猿
住 高 秀



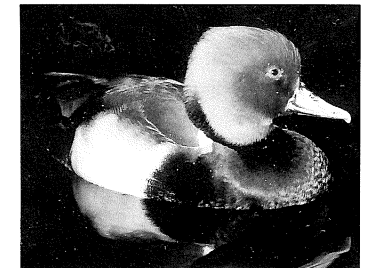
バナナみたいなオオハシくん
竹之内久美子



休 息
鮫 島 孝



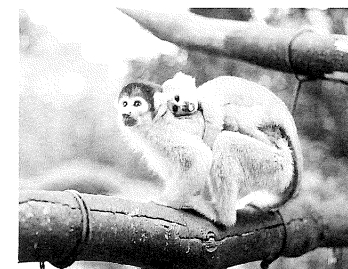
見 張 番
瀬 戸 口 健



アカハシハジロのすまし顔
大 野 雅 大



フラミンゴ誕生
高 崎 秋 江



リスザルの親子
寺 師 朝 美



大事な子猿
住 吉 重 太 郎

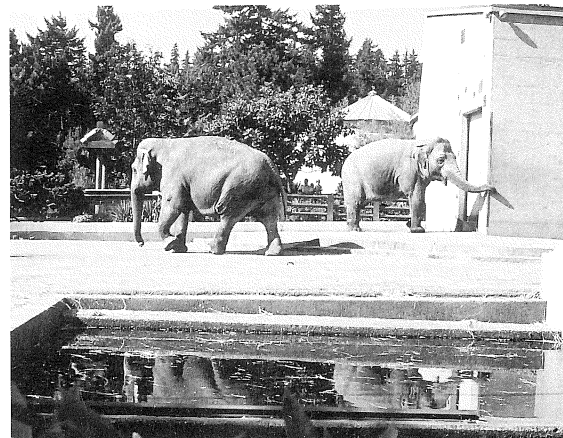
アメリカ西海岸及びカナダ研修旅行に参加して

主査 石堂 昭 憲 (獣医師)

平成4年9月1日から9月11日の11日間、日本動物園水族館協会の主催する海外動物園水族館研修旅行に参加しました。今回の研修旅行は、カナダのバンクーバーで開催された世界自然保護連合・種保存委員会・飼育下繁殖専門家集団の年次総会の開催(9月4日~9月6日)に併せて行われました。参加者は池田隆政池田動物園長を団長に全国の動物園水族館関係者26名です。研修地はアメリカ西海岸の動物園4園と水族館4館、カナダのバンクーバーにある動物園1園と水族館1館の合計10園館です。

短期間のため、かけあしの研修でしたが、訪問した動物園にはそれぞれ特色がありました。今回は五つの動物園の主な特徴を紹介します。

オレゴン州最大の都市で、コロンビア川支流のウィラメット川沿岸に位置するポートランドにあるメトロ・ワシントン・パーク動物園は、約25haのアメリカでは中クラスの動物園です。この動物園はアジアゾウの繁殖では世界的に有名で、すでに3世代25頭が繁殖しています。屋内飼育場の一部にスクイズケージを設け、これを利用して雌の性ホルモンの定期的検査を行い、雄との同居時期を決めるなど繁殖のための研究が進んでいます。ゾウ舎の隣にはゾウに関する展示のみをしているゾウ博物館があります。一方、園内の自然の森や池、沼を利用して、地元オレゴン州の動物を自然のまま展示しているゾーン(CASCADE STREAM & POND EXHIBIT)では、森林に生息するフクロウの仲間や池や沼に生息する水鳥の仲間がほとんど自然の状態



アジアゾウ屋外飼育場



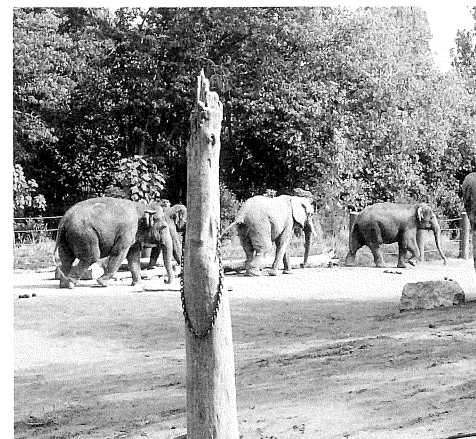
アフリカゾウに乗っている子供たち

れており、興味ある展示方法だと思いました。また、園内の野外ステージでは、猛禽類(視察時はトキイロコンドル)に関する教育とショーが行われており、大勢の子供たちが両親と静かに熱心に説明を聞いていました。

ポートランドの北、ピーゼット湾に面したタコマにあるポイント・ディファイアンス動物園は面積約9haの小さな

動物園です。この動物園は海岸に近く、海岸に生息する動物の展示技術が優れています。アザラシ、セイウチ、ホッキョクグマの展示場は一見ほんものの海岸線を思わせるほど自然に近い状態に再現されており、人工波で一層自然感を出しています。アフリカゾウに乗せる(ELEPHANT RIDE)コーナーでは、よく訓練されたゾウに楽しそうに乗っていました。地元の希少動物(RED FOX)の保護と繁殖にも力を入れており、地元の希少動物の保護の必要性がわかりやすく説明されていました。

ワシントン州西部、水と緑に恵まれた美しい港町シアトルにあるウッドランド・パーク動物園は面積約36haの大きな動物園です。広く、平坦な園内には大きな木々が多く、歴史を感じさせます。この動物園は1975年に大改



ゾウの屋外飼育場



キリン・シマウマ

造計画を決定し、その計画に基づいた改造が続けられています。サルの島では、川と電柵を利用して、無柵の状態でワオキツネザルやブラッザモンキーが飼育されており、他のサル舎の屋外展示場も非常に広く、芝生や岩が自然な感じを出してあります。夏の期間は動物舎に収容しないという

キリンやシマウマ、カバはいかにもアフリカのサバンナを連想させる広大な放飼場でゆったりと生活しておりました。ゾウの森(ELEPHANT FOREST)では、アフリカゾウとアジアゾウと一緒に展示されており、広い展示場の木立の間からひょっこりと姿を見せてくれました。アメリカの動物園は園自体のスタッフも充実していますがボランティア活動も活発で、この動物園でもゴリラ舎の前でのガイド、乗馬指導など活躍しておりました。また、朝の動物園ツアーやキャンプ、ビデオ、動物タッチングなどを通じて子供たちに動物の生態や動物愛護の教育を実施しているとのこと。

カナダ南西部、ブリティッシュコロンビア州第1の都市バンクーバーは豊かな自然に恵まれた美しい町です。ダウンタウンの目と鼻の先にあるカナダ有数の美しい大公園スタンレー公園(404 ha)の中にあるスタンレー公園動物園は約8haの小規模、無料の動物園で、バンクーバー水族館と隣接しています。園内には、野生のカナダガンやリスがたくさん見られ、スタンレー公園内では野生のアライグマも時



野生のリス

姿を見せるとのことでしたが、残念ながら見ることはできませんでした。動物の飼育状況が良くないらしく、一部の市民から動物園を閉鎖して動物を他の動物園に移せという声もあるそうです。隣接するバンクバー水族館でその充実しているのに比べて寂しい感じの動物園でした。

霧とゴールデンブリッジ、ケーブルカーで有名な世界有数の港町サンフランシスコにあるサンフランシスコ動物園は約30haの動物園です。この動物園は霊長類の展示がすぐれています。特にゴリラの屋外飼育場は非常に広く、その中に大きな樹木が植えられており、一面の芝生が更に自然な感じを出していました。餌として、遊び道具として大きな木の枝が与えられていました。ゴリラも周囲のことを気にすることなく、ゆったりと生活しており、繁殖も順調のようです。サル舎はそれぞれの動物の特性に合った生活空間をつくるため、広さと高さが考えられていました。特にシロクココロズス舎の高さにはびっくりしました。アメリカの動物園や水族館では、ペンギンやラッコなどの給餌の様子を公開してありましたが、このサンフランシスコ動物園では、猛獣類の給餌の様子を公開してありました。ライオンやトラが餌の肉を豪快に食べる様子を驚きの目で見入っていました。



ゴリラの屋外飼育場

今回の研修では以上の5つの動物園を訪問しました。いずれの動物園も特色のある展示や研究をしていました。一方どの動物園でも共通していることがありました。それは「動物の飼育場や展示場をできるだけ自然な状態に再現していること。入園者が時間をかけてゆっくりと動物の観察をしていること。スタッフの数があおく、加えてボランティア活動が動物園を支えていること」などです。いずれも、今後、我々に課せられた課題のような気がします。



サル舎の屋外展示場

平川動物公園のあゆみ

(コアラの来園以後)

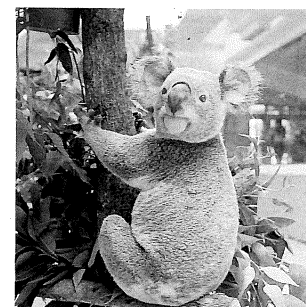
川畑純徳

昭和59年10月26日 初めて鹿児島県の夜を過ごしたコアラの「スプリンター」と「クルーザー」は思ったより落ち着いて、のんびりと樹上に休んだり、ユーカリを食べたり、地面におりて周囲をうかがう様子を見せるなど、心配されていたストレスはなくなってきた。元気でコアラ舎に泊り込んで観察にあたった飼育係も一安心であった。この日様子を見にきたロバートソン園長とブラウン獣医師は、ユーカリの与え方や健康のチェックの方法を指導した。

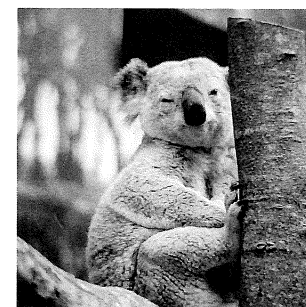
コアラの一般公開までは毎日コアラの観察記録を公表した。この期間はコアラ飼育チームにとって新しい発見も多くて毎日のニュースに事欠くことはなかった。コアラの姿を見られない市民にサービスのためコアラのフンや食べカスのユーカリを動物公園入口に展示した。コアラは新鮮で香りのよいユーカリを好むのでユーカリの採取の時間にも考慮がはらわれた。コアラの来園まえから準備していたユーカリとカシの止り木は固くてツメがたちにくくて落着かない様子であったのでシイの木に替えるとコアラも落ち着いて寝るようになった。また、コアラの健康チェックのため毎週1回体重の測定を実施した。

雨の多い時期のユーカリの新芽には毒性があるという現地の関係者の説があり、ユーカリの葉を県公害防止協会に依頼して分析してもらい飼育に万全を期した。また、コアラ舎は東京・名古屋との協議にもとづいて毎週金曜日には休館日とすることなど一般公開に先立つて決定した。

11月2日 鹿児島市と姉妹都市締結2周年を記念して来鹿した長沙市友好代表团（団長・



はやと（現地名「スプリンター」）



ネムネム（現地名「クルーザー」）

斉振英市長）15名が来園した。

同日 コアラ舎の観客通路を開園時間中に警備するため、民間の警備会社と委託契約を締結した。

11月5日 コアラに付添ってきて実地に飼育指導にあたっていたステーブ・ブラウン獣医師が6日帰国することになり、パット・ロバートソン園長を交えてコアラ飼育チームと最後の打合せが行われた。コアラ舎の空調施設の使い方が主題となって、天窓を開放して外気を取り入れることなどが話しあわれた。

11月6日 「コアラの名前選定鹿児島委員会」（報道各社代表・動物公園・18人）を自治会館で開催。さきに昭和59年9月1日から、10月31日まで、コアラ友の会が主催して日本に贈られたコアラ6匹（東京・名古屋・鹿児島）の名前を募集したところ、全国からコアラの名

前が4520種類総計150611通が寄せられていた。委員会では、このなかからコアラ2匹の名前と予備名4つを選定。11月10日の全国の選定委員会に提案することを決めた。

11月9日 午後1時10分から30分まで、市政記者にコアラの特別公開を行なった。翌日の各紙には新居に到着したコアラ2匹がユーカリを食べている様子が写真入りで大きく報道された。

11月10日 東京の日本プレスセンターで開かれたコアラ友の会主催の全国選定委員会（畑正憲委員長・12人）で東京・名古屋・鹿児島島の3園のコアラの日本名が決定。鹿児島島は6日の鹿児島島委員会で選定した「ネムネム」（現地名・クルーザー）「はやと」（現地名・スプリンター）を提案了承された。

コアラの一般公開にそなえて、警察署に協力依頼したりまた1号用地（借地）に臨時駐車場をもうけて動物公園との間でバスの運行を計画して交通混雑の対策など着々と準備した。

11月20日 コアラの一般公開。午前9時30分コアラ舎のまえてテープカットのセレモニー。クィンズランド州政府東京代表部のブレーデン弁務官、ケニー副弁務官、赤崎・日高両助役、市議会副議長、招待者、福平小ブラスバンドが参加した。この日は平日で、初日の混雑を予想して見合せたのか予想に反して約2700人入場者に終わっている。しかし、公開後のはじめての休日になった11月23日には11,215人の入園客を迎えている。この日は早朝から約600人が正門まえに列をなしていたので、平常より30分早く開園した。市や鹿児島南署の応援をもらって周辺道路や駐車場の整理にあたったので交通混雑もなくスムーズな流れの1日であった。マイカーの自粛の呼びかけのせいも、バスは満杯、国鉄もふだんの10倍以上の利用者があつた。園内の売店では、コアラのぬいぐるみなど30種ほどのコアラのキャラクター商品に人気が集まり好調な売れ行きをみせた。

一般公開の11月20日から26日までの1週間で44,244人の入園客があり、前年同期の10,741人の4.12倍を記録している。この間鹿児島市内の人よりも、地方や熊本・宮崎の県外客が目立っていてコアラ人気は九州一円に広がっていることがうかがえた。

11月30日 鹿児島さつまライオンズクラブ（相良徹郎会長・74人）からユーカリ運搬用の軽トラックが贈られた。

12月20日 オーストラリアの国鳥ワライカワセミのつがい仲間入り。コアラ・カンガルー・エミウなどと共にオーストラリア園が充実した。

12月31日 地元紙は昭和59年の県内10大ニュースのトップに「コアラ来鹿」をとりあげた。一般公開から年末にかけては入園客は平日にもかかわらず連日3000人から4000人という状況が続いて開園以来シーズンオフとしては空前の観客数を記録した。県外客が多かったことも例年になく静かなコアラブームのなかで昭和59年は終わっている。

昭和60年の新年開園の初日にあたる1月2日には、元日の夜11時ごろから待ち続けた県外客もいて、昼すぎには入口に500メートルの長い列が出来るほどであった。当日の入園者22,000人で開園以来4番目の大入りとなった。1月2日から6日まで5日間の入園者は77,654人で前年の1月の実績37,309人を軽く上回った。正月早々のコアラファイバーは県外観



光客の入込みに大きく貢献した。

初めての正月を迎えた2匹のコアラ「はやと」と「ネムネム」にはチビツ子たちから年賀状やファンレターが寄せられたので、動物園ではコアラの写真入りの返信を出した。

2月8日 第1回のコアラ研究会が名古屋市で開催された。東京（多摩動物公園）名古屋（東山動物園）鹿児島（平川動物公園）の3園のコアラ担当が集まってコアラの飼育やユーカリの栽培について情報の交換を行なった。

3月6日 オーストラリア・クィンズランド州の広報を担当しているテレビ会社の3人が平川動物公園を訪れて「はやと」「ネムネム」の近況取材した。コアラを送り出したクィンズランド州民の関心に答えるためのもので、このあと赤崎市長や日高助役にインタビュー「コアラの人気」などについてきている。

3月8日 オーストラリア・クィンズランド州のピーターセン首相は、東京の日本プレスセンターで記者会見して5月中旬鹿児島島にコアラのメス4匹を贈ることを発表した。コアラのメスの来鹿は東京・名古屋より早く日本の動物園では初めて実現することが確実にになった。「はやと」と「ネムネム」が日本の冬を乗り越えて、体重をふやし順調な生育だったことなどが評価され一番乗りとなったものである。

3月14日 南日本広友会（松元茂会長）がコアラ育成基金として50万円を鹿児島市に寄贈した。

3月20日 オスのインドゾウでは日本一の長寿記録をもっていたドム君が老衰で死去した。推定年齢41才であった。前日突然下半身マヒで立ち上がれず20日の午後に息を引き取った。昭和26年タイ国ウドム・サン・カサブさんから贈られたもので、戦後の動物の少ない時代の子供たちの人気を一身に集め、その後ながく鴨池から平川へと市民に親しまれていた。

3月26日 夜行性で昼間は寝ていることが多いコアラに見学にやって来た人たちががっかりすることが多いので、夜の活動的な状態を見てもらうため、コアラ舎内のオーストラリア紹介コーナーで毎日午前10時と午後2時の2回、ビデオの上映をはじめた。

—1992・11・30—

（元平川動物公園長）

さようなら弁慶号

鴨池動物園時代に設置され（子供汽車S25・モノレールS38）動物園移転とともに、平川に移設されて長い間チビツ子たちに親しまれてきたモノレールと子供汽車が平成4年10月31日撤去されました。跡地には平成5年に観覧車がお目見えすることになっております。



モノレール



子供汽車（弁慶号）

動物公園の顔



◀ワシミズク

Great Eagle-Owl

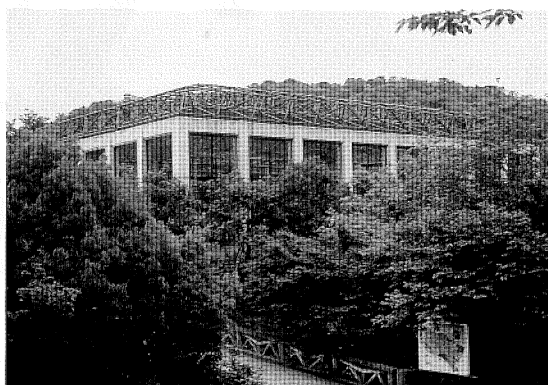
フクロウ目 フクロウ科

学名 Bubo bubo

ユーラシア大陸からアフリカまで広く分布。

日本では北海道に生息する。原生林や高地の草原にすみ、夜間に活動する。群れはつくらない。巣は岩棚、猛禽類の古巣、樹洞などを利用し、巣材はもちいない。ウサギ、ネズミ、カモ、ヘビ、カエルなどを食べる。汚白色の卵を2~3個産み、抱卵日数は34~36日。

* 動物公園施設案内 *



▲リスの森

平成3年3月31日オープンしました。

観客が通り抜けするケージで、広さ 768㎡・高さは 12.5mもある大きな施設です。

内部は滝、流れ、池を設け、植栽をしてあり、森のイメージをつくるように努力しています。シマリリス、ミケリス、ショウジョウインコ、ソウシチョウ、ムササビなどを放し飼いにしています。

平川動物公園入園者の推進

(昭47.10.14~平4.3.31)

年度	有料(人)	無料(人)	合計(人)
47(10/14)	373,485	149,394	522,879
48	551,402	220,560	771,962
49	438,977	175,590	614,567
50	409,032	163,612	572,644
51	380,992	153,396	533,388
52	359,960	143,953	503,913
53	395,929	145,955	541,884
54	380,256	139,948	520,204
55	350,917	137,916	498,833
56	373,841	151,098	524,939
57	369,866	152,315	522,181
58	355,668	138,210	493,878
59	628,590	196,733	825,323
60	701,154	205,959	907,113
61	547,745	175,335	723,080
62	502,917	164,594	667,511
63	477,324	171,052	648,376
元年	439,335	160,737	600,072
2	439,105	161,013	600,118
3	454,560	164,663	619,233
合計	8,941,055	3,271,033	12,212,088

表紙題字

鹿児島市長 赤崎義則

ひらかわ No.31 平成4年12月1日 発行 第31号

発行所 (財)鹿児島市動物公園協会

〒891-01 鹿児島市平川町5669-1 ☎0992(61)2326-8

発行者 鹿児島市動物公園協会理事長 赤崎義則

編集者 鹿児島市平川動物公園長 谷口達彦

撮影：酒匂 猛・石堂 昭憲